

第47回

# 日本循環制御医学会

The 47th Annual Meeting of Japan Society of Circulation Control in Medicine

## 総会・学術集会

プログラム・抄録集



2026.6.19(金) » 20(土)

福岡中央病院 中央ホール

大会長

岸 拓弥

国際医療福祉大学大学院 医学研究科 循環器内科学



「働きながら学びたい」—社会人が学びやすい3つの特徴

①カリキュラム

多くの授業を平日夕方以降と土曜日の昼間に行い、社会人が学びやすい環境を整備しています。

②ICT教育ツールの充実

e-ラーニング、Teamsを利用し、医療福祉における第一人者の講義を受講できます。

③7つのキャンパスを開設

福岡・大川・大田原・成田・東京赤坂・小田原・熱海の7キャンパスで受講が可能です。

—教授陣は各分野の第一人者—

※所属キャンパスに限らず、指導を受ける事は可能です。



大学院長  
医学研究科長  
矢富 裕 教授 (東京赤坂キャンパス)  
専門分野：血液内科学



副大学院長 (九州地区担当)  
筒井 裕之 教授 (福岡・大川キャンパス)  
専門分野：循環器内科学



学長  
医学研究科 公衆衛生学専攻主任  
鈴木 康裕 教授 (東京赤坂キャンパス)  
専門分野：公衆衛生学



循環器バイオバンクリサーチセンター長  
小室 一成 教授 (東京赤坂キャンパス)  
専門分野：循環器病学

国際的な研究環境の提供

英語による授業や論文指導が充実しており、英語の運用能力も身に付けることができます。

研究を支える関連施設 (臨床医学研究センター)  
※九州地区



医学専攻 (博士課程：4年間)

- 分野
- ①基礎医学研究分野
  - ②社会医学研究分野
  - ③臨床医学研究分野

取得学位 博士 (医学)

※詳細はWebより募集要項をご確認ください。

公衆衛生学専攻 (専門職学位課程：2年間)

- 分野
- ①国際保健・感染症学分野
  - ②医療福祉政策・管理学分野
  - ③疫学・社会予防医学分野

取得学位 公衆衛生学修士 (専門職)

お問い合わせ・資料請求先

国際医療福祉大学大学院

◆九州地区大学院の詳細はコチラ◆



URL <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/faculty/kyushu/>

～その他、医療福祉に関わる多様な分野を展開～

- ◎薬学・薬科学研究科
- ◎理学療法学分野
- ◎作業療法学分野
- ◎言語聴覚分野
- ◎臨床検査学分野
- ◎生殖補助医療胚培養分野
- ◎福祉支援工学分野
- ◎看護学分野 など

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものがありますので、詳細につきましてはお問い合わせください。

※修士課程は短期大学・専門学校を卒業した満22歳以上の方でも出願可能です。

福岡キャンパス  
〒814-0001

福岡市早良区百道浜2-4-16  
TEL 092-407-0434

E-mail [fukucamp@ihwg.jp](mailto:fukucamp@ihwg.jp)

大川キャンパス  
〒831-8501

福岡県大川市榎津137-1  
TEL 0944-89-2018

E-mail [ooCamp@ihwg.jp](mailto:ooCamp@ihwg.jp)

# 目次

大会長挨拶 .....	P. 2
開催概要 .....	P. 3
会場案内 .....	P. 4
参加者へのご案内 .....	P. 5
座長・演者の方々へのご案内 .....	P. 7
フロアマップ .....	P. 9
日程表 .....	P. 10
プログラム .....	P. 11
抄録 .....	P. 17
日本循環制御医学会 役員名簿 .....	P. 42
日本循環制御医学会 会則 .....	P. 43
個人情報の保護に関する細則 .....	P. 45
協賛企業一覧 .....	P. 46

# 大会長挨拶

第 47 回日本循環制御医学会総会・学術集会

## 大会長 岸 拓弥

(国際医療福祉大学大学院医学研究科循環器内科・福岡薬学部 教授)

このたび、第 47 回日本循環制御医学会総会・学術集会を 2026 年 6 月 19 日（金）、20 日（土）の 2 日間、福岡県福岡市中央区の福岡中央病院中央ホールにおいて開催させていただくこととなりました。

本学会は、循環器内科や心臓血管外科、麻酔科、そして基礎医学の専門家が「循環を制御する」という共通言語のもとに集う領域横断的かつ臨床と基礎医学が融合する、他にはない稀有な特色を持つ学会です。前回の旭川大会では、基礎医学の視点から「フロンティア」を模索しましたが、今回の第 47 回では、今一度本学会の存在意義を見つめ直し、大会テーマを「原点回帰 原石発掘」といたしました。

昨今、学術集会の形式は多様化しておりますが、本学会の本質は、異なる専門領域の医師や研究者が膝を突き合わせ、一つの事象に対して多角的な視点から熱く議論を交わすことにあります。そこで今大会では、以下の 3 つを大きな特徴として掲げました。

・全員が同じ会場に集結

会場をあえて一つにし、参加者全員が同じ発表を共有して一体感のある学術空間を創出

・一般演題が中心のプログラム

会員の皆様の、特に若手研究者の日々の研究成果が主役

・豊富なディスカッションの時間

発表後の質疑応答に潤沢な時間を割くことで、徹底的な学術的討論を行い、その中から次世代を担う若手研究者の才能、すなわち「原石」を発掘・育成

会場となる福岡中央病院は、2025 年 12 月に開院したばかりで、福岡市の中心部である薬院に位置しております。福岡空港や JR 博多駅から地下鉄でダイレクトにアクセスでき、非常に利便性の高い場所です。また、会場周辺の天神・薬院エリアは、福岡ならではの豊かな食文化や活気あふれる街並みを楽しめる拠点でもあります。

初夏の福岡に、全国から情熱を持った多くの皆様にお集まりいただき、原点に立ち返った熱い議論が展開されることを心より期待しております。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

# 開催概要

大会名	日本循環制御医学会総会学術集会
会期	2026年6月19日(金)～20日(土)
大会長	岸 拓弥(国際医療福祉大学大学院医学研究科循環器内科・福岡薬学部 教授)
テーマ	原点回帰 原石発掘
会場	福岡中央病院中央ホール
運営事務局	特定非営利活動法人リアルワールドデータを構築し明日の医療を支援する会 コンベンション事業部 〒810-0001 福岡市中央天神 4-6-28 天神ファーストビル 7階 TEL : 080-3905-8745 (平日 10:00～16:00) E-mail : info@jsccm47.jp

# 会場案内

## 福岡中央病院

〒810-0022 福岡市中央区薬院 2-6-11



### ■地下鉄

地下鉄薬院大通駅から徒歩約3分

### ■西鉄電車

西鉄薬院駅から徒歩10分

### ■バス

天神から天神ワンビル前7Cのりば『20番』系統乗車→南薬院下車 徒歩約1分  
博多駅からJR博多駅正面B番バス停『9、10、11、15、16、17、19、214番』系統乗車→南薬院下車 徒歩約1分

## 講演会場へのアクセス

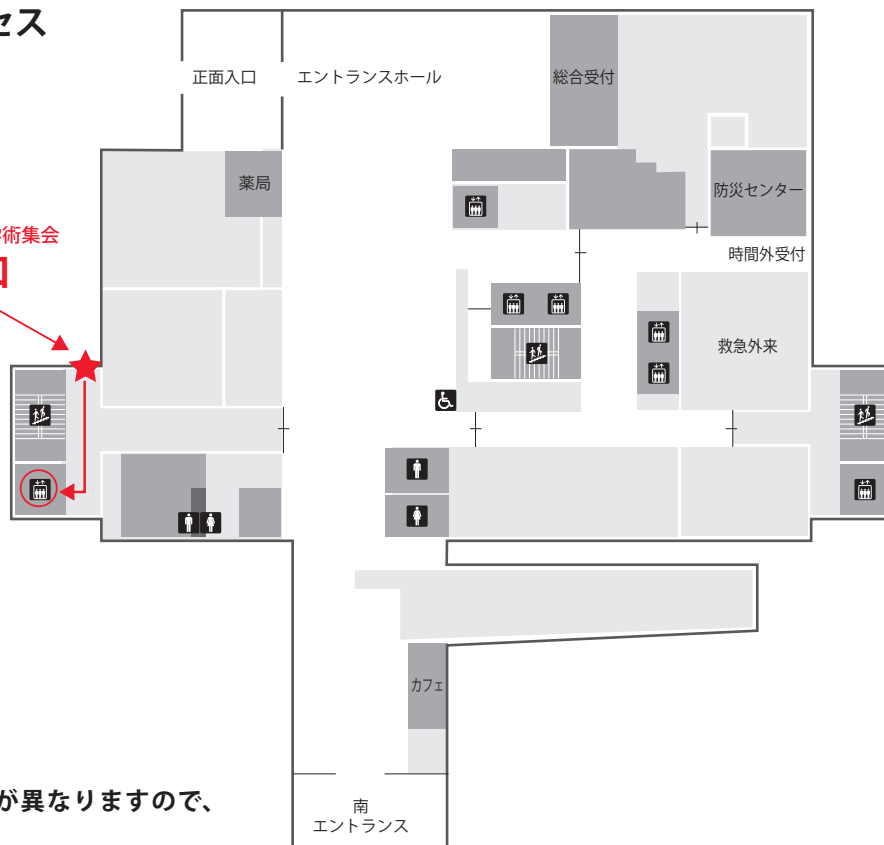
第47回日本循環制御医学会総会・学術集会

### 参加者専用入口

利用時間:

6月19日(金)  
11:00~16:20

6月20日(土)  
8:00~12:25



※通常の病院入口と入口が異なりますので、ご注意ください。

# 参加者へのご案内

## 参加者の皆様へ

### 1) 参加受付

当日は、参加受付窓口およびプリンターのご準備はございません。

視聴および学会に参加される場合は、いずれも参加登録が必要となります。

本学会のホームページの参加登録ページより登録をお願いします。

6月1日以降にマイページに掲載されております名札（A4）を印刷し、ご持参ください。

ネームカードケースをご準備しておりますので、ご持参いただきました名札を4つ折りにしケースに入れてご着用ください。

お忘れの方は、会場病院近くのコンビニエンスストア等で印刷をおねがいいたします。

### <参加登録期間>

前期参加登録：2026年3月30日（月）～2026年6月9日（火）

後期参加登録：2026年6月10日（水）～2026年6月20日（土）

### <参加費>

参加費の税金区分：会員は「不課税」、非会員は「税込」

参加費区分	前期参加登録	後期参加登録
医師・一般（会員） <sup>*1</sup>	10,000円	11,000円
医師・大学院生（非会員）	12,000円	13,000円
企業関係者（非会員）	12,000円	13,000円
メディカルスタッフ	2,000円	3,000円
名誉会員	無料	無料
研修医・学部学生 <sup>*2</sup>	無料	無料

※日本循環制御医学会は免税事業者であり、未登録のためインボイスの発行はできません。

※1 会員（日本循環制御医学会）の方は、参加登録の際に会員番号の入力が必要です。

会員番号をお忘れの場合は、下記の学会事務局までお問い合わせ頂きますようお願いいたします。

#### 【日本循環制御医学会事務局】

徳島大学大学院医歯薬部 麻酔・疼痛治療医学分野内

〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18-15

circulationcontrol@jscm.org

※2 学部学生は学生証を、研修医は研修医であることを証明できるものを、参加登録システムにアカウント作成後、事務局までメールにてお送りください。（ファイル形式：JPEG、PDF）研修医の証明書サンプルが必要な場合は、ホームページよりダウンロードをしてご利用ください。

# 参加者へのご案内

## <ネームカード受取方法>

- ・6月1日以降にマイページに表示されますネームカード（A4）を印刷し、ご持参ください。
- ・会場でのネームカードの配布はございませんので、ご注意ください。
- ・会場内ではネームカードをホルダーに入れて（印刷したネームカードを4つ折りにしてください）見やすいところに着用の上、ご入場ください。会期中、ネームカードのない方の入場はお断りいたします。

## <領収書>

参加登録システムの画面（メインメニュー）より、ご自身でダウンロード可能です。

ダウンロード期間は下記になります。

クレジット決済完了後すぐ～2026年7月31日（金）

※期間を過ぎますとダウンロードが出来なくなりますのでご注意ください。

所定の期間を過ぎてからの発行、発送などは承っていません。

## 2) プログラム・抄録集

ホームページに掲載しております。抄録閲覧にはパスワードが必要です。

パスワードは、参加登録されたマイページに記載がございます。

## 3) クローク

設置いたしませんので、ご了承ください。

## 4) 入会手続き

ご入会をご希望の方は、日本循環制御医学会事務局で年会費（10,000円）を納入し、氏名および連絡先を登録してください。

### 【入会手続き】

日本循環制御医学会事務局

徳島大学大学院医歯薬部 麻酔・疼痛治療医学分野内

〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18-15

circulationcontrol@jsccm.org

## 5) 注意事項

- ・会場内での参加者のお呼び出しは行いません。
- ・会場内では携帯電話をマナーモードに設定してください。
- ・会場内は全館禁煙です。
- ・許可のない掲示、展示、印刷物の配布、カメラ、携帯電話等での撮影、録画、録音は一切禁止します。
- ・休憩スペースが隣接しておりますので、講演の妨げになるような大声での会話はお控えください。

## 6) 会期中の問い合わせ先

第47回日本循環制御学会総会学術集会 運営事務局

7F 総合受付

# 座長・演者の方々へのご案内

## 演者の方へ

WEB 登壇はできませんので何卒ご了承ください。

### ■発表時間

セッション名	発表	質疑
一般演題（症例報告以外）	8分	12分
一般演題（症例報告）	7分	8分
特別講演	別途個別に連絡のとおり	

※発表はくれぐれも時間厳守をお願いいたします。

※計時回線のランプで発表時間終了の1分前に黄色、発表終了時間を赤色で合図いたします。

### ■発表は PC プレゼンテーションに限ります。

PC 受付の設置はございません。各自自身の PC をお持ち込みください。

Windows：PC 持込のみ

Mac：PC 持込のみ

接続コネクタは HDMI です。電源アダプター・変換アダプターはご自身でご用意ください。

1. スライドサイズ：ワイド画面（16：9）を推奨いたします。
2. 解像度：会場の液晶プロジェクターの解像度に合わせ、1920 x 1080 を推奨いたします。
3. 音声の出力はできません。
4. データ作成後は、必ずウイルスチェックと他のパソコンでの試写をしてください。

### ■発表方法

1. 発表予定時刻の **10 分前まで**にご自身で会場前方のオペレーター席まで PC をお持ちください
2. 変換アダプターが必要な方は、ご持参ください。
3. 発表開始時刻の 10 分前までに講演会場内左前方の次演者席で待機してください。
4. 資料が必要な方は、事前に印刷してご準備のうえ、時間厳守での発表にご協力ください。  
演者持ち込み PC なので発表者ツール使用しても構いませんがし出力の設定が必要です。  
発表者ツールを使用される場合は、外部出力の設定（拡張画面）の設定と「発表者ツールを使用する」のチェックボックスにチェックを必ず入れておいてください。
5. お持ちいただく PC が外部モニターに正しく出力されるか事前に動作確認を行ってください。
6. 再起動する場合がございますので、パスワード入力は「不要」に設定をお願いします。
7. スクリーンセ이버および省電力設定は事前に解除をお願いいたします。
8. お預かりした PC 本体は、発表終了後、会場内のオペレーター席にて返却いたしますので、速やかにお受取りをお願いいたします。

### ■山本賞・会長賞について

一般演題の各セッションの中から座長推薦により優秀演題を選出し、会長賞として表彰します。

会長賞の中から、最優秀演題を選出し、山本賞を贈呈します。

各賞は総会後に行われます表彰式にて発表いたします。

# 座長・演者の方々へのご案内

## ■利益相反（COI）に関する情報開示について

本学会では研究の成果を学術集会で発表する場合、当該研究実施にかかわる利益相反（COI）の状態を適切に開示することが義務付けられております。

「利益相反（COI）マネージメントに関する指針 (<https://www.jscm.org/users/coi>) をご確認ください。当日ご発表スライドの冒頭にて利益相反状態の開示をお願いいたします。

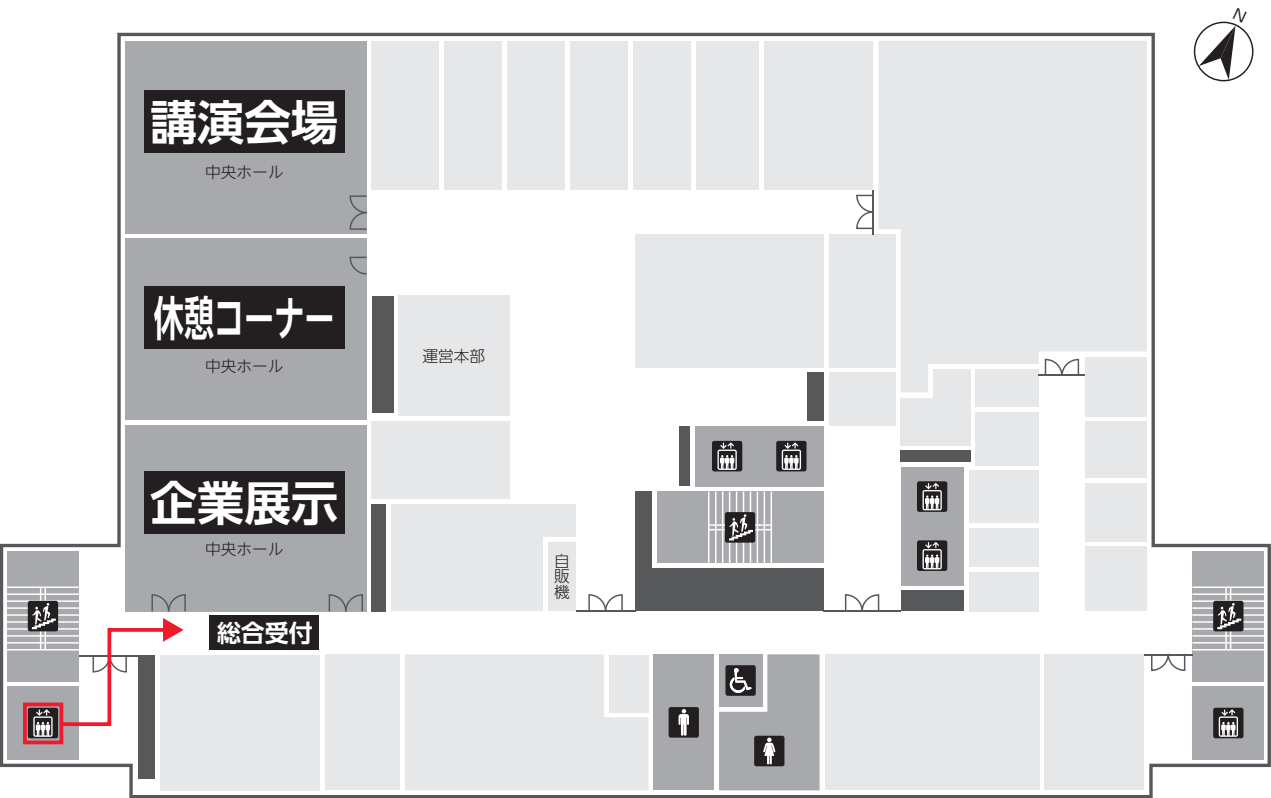
## 座長の方へ

1. 担当セッション開始 10 分前までに、会場にご来場ください。  
WEB 登壇はできませんので何卒ご了承ください。
2. 座長はセッション開始 5 分前に講演会場内右前方の次座長席へお着きください。
3. 進行は座長に一任いたしますが、各セッションの進行が遅れないようにご注意ください。

# フロアマップ

福岡中央病院

7F



# 日程表

	1日目 6月19日(金)	2日目 6月20日(土)
9:00		9:00 ~ 10:30  <b>一般演題(症例報告)</b> 座長：山浦 健(九州大学)
10:00		
11:00	11:55 ~ 12:00 <b>開会式</b>	10:35 ~ 12:15  <b>一般演題(基礎研究3)</b> 座長：佐藤 元彦(愛知医科大学)
12:00	12:00 ~ 13:20  <b>一般演題(基礎研究1)</b> 座長：金澤 英明(東京医科大学病院)	12:20 ~ 12:50 <b>総会・表彰式</b>
13:00		12:50 ~ 13:00 <b>閉会式</b>
14:00	13:30 ~ 14:50  <b>一般演題(臨床研究)</b> 座長：朔 啓太(国立循環器病研究センター)	
15:00	15:00 ~ 16:00 <b>特別講演</b> [Beyond the Healthcare Singularity: Scalable Expert Medicine through Autonomous Physiological Control] 座長：岸 拓弥(国際医療福祉大学大学院医学研究科) 演者：砂川 賢二(循環制御システム研究機構)	
16:00		
17:00	16:10 ~ 17:30  <b>一般演題(基礎研究2)</b> 座長：木下 浩之(聖隷三方原病院)	

# プログラム

---

# 6月19日(金)

## 開会式

6月19日(金) 11:55 ~ 12:00

岸 拓弥 (国際医療福祉大学大学院医学研究科)

## 一般演題

6月19日(金) 12:00 ~ 13:20

### 基礎研究 1

座長：金澤 英明 (東京医科大学病院)

**OS1** Milrinone は急性心不全モデル犬において循環動態とともに左室力学効率を改善させる

中村 優太 (湘南鎌倉総合病院)

**OS2** 拍動流モックによる後負荷と Impella 関連逆流の検討

鷓木 崇 (済生会熊本病院)

**OS3** 静脈-動脈型体外膜型人工肺 (V-A ECMO) 使用時のヒト心拍出量測定原理について

小原 章敏 (川西リハビリテーション病院)

**OS4** 経皮的左室補助デバイスによる循環補助は動脈圧反射を介し有効循環血液量を抑制する

大竹 正紘 (国立循環器病研究センター)

## 一般演題

6月19日(金) 13:30 ~ 14:50

### 臨床研究

座長：朔 啓太 (国立循環器病研究センター)

**OS5** 肺動脈カテーテルによる右室-肺動脈カップリング推定の精度検証

伊藤 芳彰 (国立循環器病研究センター)

**OS6** 低身長が規定する心房細動カテーテルアブレーション後再発基質可能性の循環生理的考察

富田俊一朗 (高木病院)

**OS7** 耳袋で測定した脈派伝搬時間 (PWTT : Pulse Wave Transit Time) からの手指 PWTT の推定

中野 良太 (九州大学病院)

OS8

急性冠症候群心原性ショックに対する高度補助循環戦略の比較

米田 奈央 (済生会熊本病院)

## 特別講演

6月19日(金) 15:00 ~ 16:00

### Beyond the Healthcare Singularity: Scalable Expert Medicine through Autonomous Physiological Control

座長: 岸 拓弥 (国際医療福祉大学大学院医学研究科)

EL1

演者: 砂川 賢二 (循環制御システム研究機構)

## 一般演題

6月19日(金) 16:10 ~ 17:30

## 基礎研究2

座長: 木下 浩之 (聖隷三方原病院)

OS9

腎神経を温存した新規CKDモデルにおける心不全発症の評価

宮本 燎平 (九州大学大学院医学研究院)

OS10

Impella 駆動下の脈圧低下に対し、左室の過伸展を疑った一例

四宮 綾美 (国立循環器病研究センター)

OS11

微小軸流ポンプによる動脈圧反射を介した左室負荷軽減効果: 循環シミュレータ検証

村井 花奈 (国立循環器病研究センター)

OS12

高齢 HFpEF 患者の急速生食負荷とハンドグリップ負荷中の左室圧容積関係を計測した一例

稗田 道成 (産業医科大学)

## 6月20日(土)

### 一般演題

6月20日(土) 9:00 ~ 10:30

### 症例報告

座長：山浦 健 (九州大学)

- OS13** Fontan 循環患者の急性硬膜下血腫に対する開頭血腫除去術の麻酔管理  
藪手 孝宗 (徳島大学病院)
- OS14** Stone Heart に対し左房脱血による Central ECMO 導入によって左房内血栓を回避し得た一例  
加藤 魁 (国立循環器病研究センター)
- OS15** 悪性高熱症の家族歴を有する口腔外科手術症例の周術期管理  
藤田 創詩 (徳島大学病院)
- OS16** 全身麻酔導入時の経鼻挿管に伴い多量の鼻出血を認めた症例  
松井 瞳 (徳島大学病院)
- OS17** VA-ECMO 離脱に吸入一酸化窒素が有効であった肺高血圧合併 ECPELLA 管理の1例  
田中 誠磨 (済生会熊本病院 心臓血管センター)
- OS18** 全身麻酔導入後にアナフィラキシーショックを呈した1症例  
高田真里菜 (徳島大学病院)

### 一般演題

6月20日(土) 10:35 ~ 12:15

### 基礎研究3

座長：佐藤 元彦 (愛知医科大学)

- OS19** 急性下肢動脈閉塞を合併した遺残坐骨動脈瘤の一例  
田村 重樹 (群馬県立心臓血管センター)
- OS20** なんで SGLT2 阻害薬は心不全に効くの？  
千葉 弓子 (旭川医科大学)
- OS21** 低侵襲心臓手術 (MICS) における一酸化窒素吸入療法の有効性に関する単施設後方視研究  
角田 奈美 (徳島大学大学院医歯薬学研究部)

**OS22** 可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激薬ベリシグアトの一般化循環平衡理論を用いた解析  
鈴木 大樹（東海大学医学部付属病院）

**OS23** 術中心停止に至ったが明らかな後遺症なく蘇生しえた乳児の症例  
入江 良彦（鹿児島大学病院）

**総会・表彰式**

6月20日（土）12:20～12:50

---

**閉会式**

6月20日（土）12:50～13:00

---

# 日本循環制御医学会 役員名簿

## 名誉会員

安藤 眞一	井尻 好雄	梅村 敏	大西 佳彦	加納 龍彦	上村 裕一
熊谷 裕生	熊澤 光生	公文 啓二	小松 徹	小柳 仁	齋藤 能彦
重見 研司	清水 禮壽	菅 弘之	杉町 勝	鈴木 英弘	砂川 賢二
澄川 耕二	田中 一彦	田中 義文	並木 昭義	萩原 誠久	橋本敬太郎
畑埜 義雄	林 哲也	廣岡 良隆	廣田 和美	福田 恵一	外 須美夫
村上 誠一	山崎 光章	葭山 稔			

## 理事長

田中 克哉

## 副理事長（次期理事長）

原 哲也

## 理事

秋吉浩三郎	麻野井英次	石井 久成	石川 義弘	入部玄太郎	尾前 毅
加藤 隆児	金澤 英明	川人 伸次	岸 拓弥	木下 浩之	朔 啓太
佐藤 元彦	清水 秀二	富田 泰史	畠山 登	松木 悠佳	松永 明
山浦 健					

## 監事

川田 徹 恒吉 勇男

## 評議員

秋吉浩三郎	麻野井英次	東 俊晴	阿部弘太郎	石井 久成	石川 義弘
泉 薫	一ノ宮大雅	稲垣 正司	入部玄太郎	浦田 秀則	岡田 修一
奥村 敏	尾前 毅	垣花 泰之	加藤 隆児	金澤 英明	金本 匡史
假屋 太郎	川口 昌彦	川島 信吾	川田 徹	川人 伸次	岸 拓弥
北口 勝康	木下 浩之	神山 有史	坂口 嘉郎	坂田 泰史	朔 啓太
佐藤 元彦	佐野 元昭	清水 秀二	下澤 達雄	白水 和宏	田中 克哉
恒吉 勇男	富田 泰史	豊田 浩作	西坂 麻里	沼田 智	長谷川 豊
畠山 登	原 哲也	東みどり子	藤野 剛雄	細川 和也	牧 盾
牧野 洋	松木 悠佳	松永 明	丸田 豊明	丸山 一男	宮内 卓
宮本 忠吉	矢野 武志	山浦 健	湯浅 慎介	横山 公章	米澤 一也

# 日本循環制御医学会 会則

## 第1章 総則

- 第1条** 本会は、日本循環制御医学会と称し、英文では Japan Society of Circulation Control in Medicine (JSCCM) と表記する。
- 第2条** 本会は、主たる事務局を東京都新宿区におく。

## 第2章 目的および事業

- 第3条** 本会は、体液循環の調節機構および体液循環の管理・制御などの領域をめぐる学際的研究を通して医学の進歩に貢献することを目的とする。
- 第4条** 本会は、第3条の目的を遂行するために、次の事業を行う。
1. 第〇〇回日本循環制御医学会総会・学術集会と称する学術研究集会等を年1回以上開催する。
  2. 学会誌その他の刊行物の発行
  3. 内外の関係諸団体との交流・協力活動
  4. その他、第3条の目的を遂行するために必要な事業

## 第3章 会員

- 第5条** 本会の会員は次の4種類とする。
1. **正会員**  
本会の目的に賛同し、所定の会費を納入する医師または研究者
  2. **名誉会員**  
本会の目的に関して多年功労のあった個人で、総会会長経験者や評議員2名による推薦を受け、理事会、評議員会の議を経て、総会で承認された者。理事長が囑託する。
  3. **賛助会員**  
本会の目的に賛同し、本会の維持発展に協力を希望する正会員以外の個人または団体で、所定の会費を納入する者
  4. **協賛会員**  
本会の目的に賛同する正会員以外の個人または団体で、期限付きで寄付を行う者
- 第6条** 正会員または賛助会員は、会費細則に定めるところにより、会費を納入しなければならない。名誉会員及び協賛会員は、会費を納めることを要しない。既納の会費はいかなる事由があっても返還しない。
- 第7条** 会員は次の場合にその資格を失う。なお、代議員である正会員は会員資格を喪失した際に代議員の資格を喪失する。
1. 退会の希望を本会事務局に届け出たとき。
  2. 会費の納入が継続して3年以上なされなかったとき。
  3. 当該会員が死亡または会員である団体が解散したとき。
  4. 本会の名誉を傷つけ、また本会の目的に反する行為があった、その他正当な事由があると理事会が判定したとき。

## 第4章 役員

- 第8条** 本会に次の役員をおく。
1. 理事長1名
  2. 副理事長2名（前理事長1名、次期理事長1名）
  3. 理事若干名
  4. 監事2名
  5. 評議員若干名
  6. 事務局長1名
- 第9条** 役員を選出法と任期
1. 理事長は、次期理事長が任期後に就任する。
  2. 理事長の任期は、定期評議員会の翌日から3年後の定期評議員会終了日までの1期とする。
  3. 副理事長（前理事長）は、理事長の任期後に就任する。
  4. 副理事長（前理事長）の任期は、定期評議員会の翌日から2年後の定期評議員会終了日までとする。
  5. 副理事長（次期理事長）は、理事長の任期終了1年前までに理事会の決議により理事の中より選任する。
  6. 副理事長（次期理事長）の任期は、定期評議員会の翌日から理事長就任までの1年とする。
  7. 新理事は、理事2名による推薦を受け、理事会の決議を経て、評議員会で承認後、理事長が任命する。
  8. 新監事は、理事会の決議を経て、評議員会で承認後、理事長が委嘱する。なお、監事は学会長を兼ねることができない。
  9. 新評議員は、評議員2名による推薦を受け、理事会で決定する。
  10. 事務局長は、理事長が任命する。
  11. 理事、監事、評議員および事務局長の任期は、定期評議員会の翌日から3年後の定期評議員会終了日までとし、再任は妨げない。
  12. 補充または増員によって選出された役員は、前任者または現任者の残任期間とする。

## 第10条 役員の職務

1. 理事長は、本会を代表し、理事会を組織して会務を執行する。
2. 副理事長（前理事長、次期理事長）は、理事長を補佐し、理事長不在の場合は理事長の職務を代行する。
3. 理事は、理事会を構成し、重要事項を決定、会務を執行する。
4. 監事は、会の運営並びに経理を監査する。また理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する。いつでも、理事に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。
5. 評議員は、評議員会を構成し、会の重要事項を審議する。
6. 事務局長は、本会の事務を担当する。
7. 役員は無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

## 第11条 学会長の選出と職務、および任期

1. 学会長は、立候補者を募り、理事会で選考し、評議員会で承認し、総会に報告する。
2. 学会長は、学術研究集会を主催する。
3. 学会長は、評議員会および総会の議長となる。
4. 学会長の任期は1年とする。

## 第5章 総会・理事会および評議員会

第12条 総会は年1回開催し、正会員および名誉会員をもって構成され、理事長が招集し、学会長が議長となる。

第13条 評議員会は年1回開催し、理事長が招集し、学会長が議長となる。  
名誉会員は、評議員会に出席し、理事長の要請により意見を述べるることができる。評議員会は評議員の過半数の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数をもって行う。

第14条 臨時総会および臨時評議員会は、理事会の議決を経て開催される。

第15条 理事会は、理事、監事および事務局長をもって構成する。理事長が必要と認めた場合に招集し、理事長が議長となる。理事会は理事の3分の2の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数をもって行う。理事会の議事については、議事録を作成し、出席した理事長及び幹事は議事録に記名する。

第16条 理事長が事故または欠員のときは、総会、評議員会、臨時総会ならびに臨時評議員会は、副理事長（前理事長・次期理事長）が招集する。

第17条 理事会は、会務執行の必要に応じ、常設または臨時の委員会を設置することができる。委員長は理事会の議を経て、理事長が任命する。

第18条 監事は、本学会に関する全ての会議、委員会に出席し、会務に関して意見を述べるることができる。

## 第6章 会計

第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

事務局長は毎会計年度終了後に年1回、会計報告を作成し、監事の監査を経て、理事会、評議員会の承認を得る。

第20条 本会の経費には、年会費、寄付金およびその他の収入をもって充てる。

第21条 本会会員の年会費は別に定める。

## 第7章 補則

第22条 本会則は、理事会および評議員会の議決承認を経て改正することができる。

第23条 この会則は、2021年3月6日から施行する。

## 細則 会費規程

第1条 この規定は、日本循環制御医学会の定款第6条に基づき、この会の会員の会費に関し必要な事項を定める。

第2条 年額会費は次の各号に定める通りとする。

1. 理事 年額 10,000円
2. 正会員 年額 10,000円
3. 賛助会員 一口 50,000円
4. 名誉会員 会費の納入を必要としない。

第3条 会員が、年度の途中に入会または退会した場合であっても、入会または退会年度の会費は全額を支払うものとする。

第4条 第2条で規定する会費は、4月1日から翌年3月31日までを1年度分とし、この会が指定する方法で前納するものとする。

第5条 この細則は、理事会および評議員会の議決によって改正することができる。

< 1990年7月14日改正 >  
< 1993年5月28日改正 >  
< 1999年5月14日改正 >  
< 2003年9月30日改正 >  
< 2008年7月01日改正 >  
< 2012年6月03日改正 >  
< 2015年6月05日改正 >  
< 2021年3月06日改正 >

# 個人情報保護に関する細則

「日本循環制御医学会個人情報保護方針」に基づき、実施の実際について下記の通り定める。

## 1. 会員の個人情報に関して

---

- 1) 個人情報を収集する時期  
本会は、会員の入会時および情報が変更になったときに、会員本人の個人情報について、会員の同意の下に収集し、これを事務局にて保管する。
- 2) 収集する個人情報の範囲  
本会は、学会業務および会員への連絡通知等に必要最低限度の個人情報を、会員の同意の下に収集する。
- 3) 第三者への提供  
本会は、第三者に対する会員の個人情報はいかなる形でも提供しない。
- 4) 年度大会事務局への提供  
日本循環制御医学会の年度大会事務局に対しては、学会業務および会員への連絡通知等に必要最低限度の個人情報のみを提供する。大会業務が終了次第、当該個人情報を安全に破棄する。
- 5) 年度大会事務局が保有する個人情報の「循環制御」誌編集委員会への提供  
年度大会事務局が演題登録時に得た個人情報のうち、論文投稿依頼の連絡通知等に必要最低限度の個人情報のみを日本循環制御医学会の機関誌「循環制御」の編集委員会に提供する。このことは年次学術集会の演題募集要項に「個人情報保護について」として個人情報の保有期間を含めて明記する。
- 6) 電子媒体での提供  
本会からは個人情報を電子媒体で提供しない。やむを得ず提供する場合は、学会業務および会員への連絡通知等に必要最低限度の個人情報のみを、安全な形で送付する。この場合、本会は相手方に情報の取り扱いに関する誓約書の提出を求める。
- 7) 個人情報の訂正に関して  
個人情報の内容について、全部または一部の訂正を希望する場合には、会員本人より FAX、郵便、電子メールなど記録に残る方法により事務局まで通知するものとする。
- 8) 個人情報の削除に関して  
個人情報の内容について、内容の変更がないにもかかわらず全部または一部の削除を希望する場合には、会員本人より書面にて事務局まで通知するものとする。この場合、削除によって会員が被る不利益がある場合、当該会員はその不利益について同意したものとする。

## 2. 業務に付随して発生する個人情報について

---

- 1) 会員以外の個人情報について  
本会は、その業務において会員以外の個人情報を取得した場合、上記 1.4) および 1.5) を準用する。かかる業務が終了した時点で当該個人情報を安全に破棄する。
- 2) 患者の個人情報について  
本会は、その業務において患者の個人情報を取り扱う場合には厳重に管理し、第三者への提供等を行わない。
- 3) 発表者における患者情報の取り扱いについて  
本会は、学会集会および講習会等で使用される発表データから、あらゆる患者情報を削除または識別不可能とする。

2016年7月9日より施行

# 協賛企業一覧

(敬称略、五十音順、2026年5月1日現在)

アンター株式会社  
株式会社メディカ出版  
一般社団法人臨床医学推進機構  
医療法人宗光会 今野病院  
株式会社 Cubec  
株式会社クロスウェル  
国際医療福祉大学大学院  
大正製薬株式会社  
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会様  
持田製薬株式会社

第47回日本循環制御医学会総会学術集会の開催に際し、上記の企業より多大なるご援助を賜りました。  
ここに厚く御礼申し上げます。

第47回日本循環制御医学会総会学術集会学術集会  
会長 岸 拓弥 (国際医療福祉大学大学院医学研究科)

# そのスライド、 次の医師の**学び**になる。

循環器領域のスライドを探せる。

勉強会・発表資料を共有できる。

学びを、次の世代へつなぐ。



スライドを見る

今すぐチェック >



投稿する

知識をシェア >

こちらからアクセス /



<https://slide.antaajp/>

医療・健康ニーズに応じて、  
人々の健康・福祉にいっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。  
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



MOCHIDA

持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>



**Life forward**

かけがえのない日常のために

ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業として、約140年にわたり人と動物の健康に取り組んできました。これまで多様な分野で培った経験やパートナーシップを生かし、未来を見据えて研究開発に注力しています。



詳細はこちらをご覧ください  
[boehringer-ingelheim.com/jp/](https://boehringer-ingelheim.com/jp/)



Boehringer  
Ingelheim